

令和2年度 南相馬市立原町第三中学校 入学式 式辞

式辞

やわらかな春の光が降り注ぐ 今日の良き日、多数の保護者の皆様のご臨席を^{たまわ}賜り、令和二年度の入学式を 挙行できますこと、厚く御礼申し上げます。

十九名の新入生の皆さん 入学おめでとうございます。皆さんの入学を 心より歓迎致します。

今日から皆さんは、この学校で これまでの伝統と校風を受け継ぎ、さらに発展させるため、上級生とともに 力を合わせ 努力することになります。二、三年生を手本に、中学生として何をすべきか、判断できるようになってください。

中学校に 一日も早く慣れ、充実した生活を送るために、三年間の中で 身につけてほしいことを 二つお話しします。

一つ目は、夢や目標を実現するために、自ら具体的な目標を立て、自分に厳しく実行することです。中学校は 小学校と違い、三年後には 自分の道を進まなければなりません。将来を見据えながら、学習、部活動、様々な学校行事を通して、着実に 自分を鍛えて行く必要があるのです。

また、皆さんは中学校の三年間に 心も体も、大きく成長します。卒業の頃には 見違えるようになるでしょう。難しいこと 辛いことに 自らあえて挑む^{いど}気持ちで、学習や部活動に取り組み、強い体と心をつくってください。自分の限界を広げるよう、自分を鍛え、磨き上げてください。新型コロナウイルス感染症への不安を抱えながらのスタートとなりますが、このような時こそ、自分を強くする機会だと捉える考え方が必要です。ピンチをチャンスに変える 前向きな発想ができれば、これからの時代を たくましく生き抜いていけると思うからです。

二つ目は、社会の中で生きていく力を身につけることです。

そのために大切なことは、「挨拶」です。自分から挨拶することは、

皆さんがこれから生きていくうえで、大きな財産となる 大切な習慣です。明るい挨拶ができるだけで、いろいろな人とのつながりが生まれ、世界が広がり、運命が変わると言ってもいいでしょう。

生徒のあいさつがすばらしいことは 原町三中の伝統です。新入生の皆さんにもぜひ受け継いでほしいと思います。

また、相手の心が分かること、望ましい人間関係を築くことなど、豊かな社会性を身につけることも 社会の中で生きていくために大切なことです。自分の言葉や行動が、相手にどう受け止められるのか。相手の心にどう響くのかを考えながら、人との関わり方、協力のしかたなどを学び、望ましい人間関係を築いてほしいと思います。

保護者の皆様、本日はお子様のご入学、誠におめでとうございます。中学校の制服に身を包み、緊張した表情で入学する姿を見て、感慨もひとしおのことと存じます。今後は、お子様一人一人が社会に貢献できる 立派な人間へと成長していくために、学校とご家庭が しっかり連携し、地域の方々のご支援をいただきながら、教育を推進してまいりますので、よろしくお願い申し上げます。

全職員が一致団結して、皆様のご期待に応えるよう 努力いたします。本校教育の充実・発展のため、温かいご理解とご支援を賜りますよう^{たまわ}お願いを申し上げます。式辞といたします。

令和2年4月6日

南相馬市立原町第三中学校長 鈴木 太